

新発売

22インチに標準対応!コストパフォーマンスに優れ、 シンプルで使いやすいスタンダードタイプがモデルチェンジ ヨーロッパタイヤチェンジャー HP

HP441Q.22FI

- 11～22インチに対応。軽自動車からSUVまで幅広く整備できます。
- 2スピードモーターを採用し、作業に応じて、低速・高速の2段階でスピード調整が可能に!
- オプションのレバーレスキットを取り付ける事により、低扁平タイヤ・ランフラットタイヤも無理なく交換可能に!
※オプションは近日発売



標準で対応
22インチ
タイヤ

オプションで対応
ランフラット
タイヤ



近日発売

付属のエアインパクトガンで、フィルター面にパルスエアを近接放射! 軽量・コンパクトな移動式DPF清掃機 エアインパクト

AP-250

- 毎秒60回の強力なパルスエアがDPFを貫通し、アッシュとPMを除去します。
- DPFは低床ホッパー上に置くだけの簡単セッティング!重いDPFを持ち運ぶ必要がありません。
※市販のバキュームクリーナー(別売り)のホースを接続してご使用下さい。



おすすめ商品

HID・LEDなどの新光源に対応する最新ヘッドライトテスター 画像処理方式ヘッドライトテスター

HLI-211

- 信頼の測定精度と抜群の操作性で圧倒的な使いやすさを実現
- 見やすい大型17インチ液晶モニターを採用

手動式



全自動式「HLI-2011」も
ラインナップ

HL-211S

- 機能性と実用性を高め、更なるコストパフォーマンスを実現
- ランプ正対は正対用スクリーンと正対用レーザーの2通りで可能

手動式



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス(ボイスワープ)対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。受付時間:月～金(AM9:00～PM5:00)

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ「ANZEN Web」ではANZENの最新情報を提供しています。

●発行所/安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25 ●ANZEN NEWS 61号(2013年10月1日発行)

2013

Autumn
VOL.61

自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS

95
ANZEN
SINCE 1918
交通報国95年
この95年の歴史とともに

SAFETY ANZEN

CHARGE

ご使用のヘッドライトテスターは 新光源(HID・LED)に対応していますか?

車両安全性の向上や新技術の採用に伴い、ヘッドランプも日々進化しています。様々な光源のランプが混在する現在、旧式のテスターではどんなに車検整備の技術が高くても、新光源の正しい光度を測定できないケースがあります。車検品質を保ち、コンプライアンスを果たすためにも、新光源に対応した最新のテスターでより正確な車検を行いましょう!

旧式のセンサー方式テスターでは光の色を正確に感知できない!?

「まぶしいくらい明るいのにテスターでは光度不足」「何回調整しても光度が足りない」このような測定できないヘッドランプに心当たりはありませんか?ヘッドランプの光は白っぽく見えても実際には黄やオレンジなど色がついています。従来ヘッドランプで主流だった白熱ランプやハロゲンランプはオレンジに近い赤みのある光をしていたのに対し、近年主流になっている新光源のHID・LEDランプは白色光と呼ばれる青みのある光をしています。そのため、従来主流だった赤みのある光を重視して設計された旧式のセンサー方式テスターでは、青みのある光をうまく感知できず、下記のように光度が上がらず正しく測定できない場合があります。

対策 以下のようなヘッドランプには新光源(HID・LED)にも対応した最新のテスターが必要です。

⚠ 白色光と呼ばれる青みのある光で旧式のセンサー方式テスターでは光度が上がらないヘッドランプ

■従来の赤みのある光(ハロゲン)と近年の青みのある光(HID)におけるテスター別の光度比較

赤みのある光

ハロゲンランプの場合

テスターによる光度の違いはなく、正確に測定が可能。



※ハロゲンランプでも白色光タイプの場合(特に純正以外のランプなど)は旧式のセンサー方式テスターで光度不足になる場合があります

青みのある光

HIDランプの場合

テスターによって光度の違いが発生。正確な測定ができていない。



国土交通省が新光源対応を推進! 該当の旧式テスターに「特例改造」を適用

このような背景もあり、新光源に対応していない該当のヘッドライトテスターは、速やかに改造が進められるよう、国土交通省が「特例改造」として取り扱う事になりました(機工協現地改造検査における実地審査の省略)。6月28日付にて国土交通省から一般社団法人日本自動車整備振興会連合会(日整連)事業部長宛に通達が流れ、7月11日に日整連から各自動車整備振興会宛に通達が流れています。本特例改造の適用期間は2年間です。(2013年6月18日～2014年6月18日まで)

詳細につきましては、最寄りの営業所にお気軽にお問い合わせください。

■ヘッドライトテスターの新光源対応に関する型式一覧表

型式	タイプ		LED対応	改造可否
	スクリーン式	画像式		
HL-106	○	○	×	×
HL-205S	○	○	○	—
HL-208S	○	○	○	—
HL-211S	○	○	○	—
HL-211SL	○	○	○	—
HLI-203	○	○	×	○
HLI-205	○	○	○	—
HLI-210	○	○	○	—
HLI-211	○	○	○	—
HLI-2000	○	○	×	○
HLI-2003	○	○	×	○
HLI-2007	○	○	○	—
HLI-2011	○	○	○	—

沖縄日野自動車株式会社 本社工場

沖縄県豊見城市字豊崎3-68
Tel 098-996-2502

知りたい!
元氣な工場の秘密

今回訪問したのは、2013年4月、浦添市から豊見城市に本社社屋及び工場を移転・オープンした沖縄日野自動車(株)です。4,300坪を誇る広大な敷地には、車両がずらりと並び、忙しく稼働する工場の様子が伺えます。そんな沖縄日野自動車(株)の総社員は73名(うちサービススタッフ32名)。年間の車検入庫目標台数は約2,100台、一般整備・点検が約5,700台で、恵まれた立地とスタッフの高い技術力を武器に、顧客の拡大を図っていく方針です。「他県の工場や海外の整備工場を見学し、機器だけでなくピットや周辺機器のレイアウトなども検証した」と崎山サービス部長が語るように、先端の技術を取り入れた新工場は、全国から見学依頼も多く、高い注目を集めています。



取締役
サービス部長
崎山 実 様



サービス部 サービス課
課長代理
東恩納 修 様



作業効率と環境対応を両立!こだわりのアイデアが活きる、ランニングコストのかからない最新大型工場

■コンセプトは「作業効率と環境対応を重視し、ランニングコストのかからない工場」心地良い海風が吹き抜ける新工場は、車検整備が3レーン、一般整備3レーン、板金・塗装3レーンと、洗車レーン・完成検査レーンからなっています。工場内は、車両をバックする事なく入庫がスムーズにできるオールスルーレーン方式を採用。事故なく安全に走行できる作業動線を確保しました。また、従来の工場で課題とされていた電気・水道代にかかるランニングコストをいかに低減できるかを考え、工場照明をLED化、「雨水循環式」水利用システム(工場内地下に30tタンクを埋設し、雨水を洗車や散水・トイレの洗浄水として再利用するシステム)を導入するなど、とことん省エネ・省コストを追求しました。さらに、機器劣化の要因となる事からも、工場内における水の使用を禁止し、清掃は集塵機で対応させるなど発想を転換。設備の導入と意識改革の結果として、電気代と水道料金を前年同月比で調べたところ約20%の削減につながったという事です。長期的にみてもその費用対効果は絶大と言えるでしょう。



天井には96個のLEDライトを設置。レーン毎の消灯が可能で、ムダな消費電力をカット



工場内地下に30tタンクを埋設し、雨水を洗車や散水・トイレの洗浄水として再利用するシステムを導入

作業の効率化に大いに貢献するリフト機器

リフト機器は中・小型車の入庫に合わせて2柱式「ツインパワーリフト」6基と、「2分割フロアリフト」を導入しました。その使い勝手については、「ツインパワーリフト」はとにかく床がフラットで作業効率がいいですね。主に一般整備・点検、オイル交換作業などに使用していますが、車両を乗り入れてからリフトアップするまでの所用時間が約5分と、セッティング時



「ツインパワーリフト」は、車両乗り入れからリフトアップまで、スピーディーなセッティングを実現

間が早いと感じています」(東恩納さん)。また、県内初設置となる「2分割フロアリフト」については、「オイル交換やクラッチ板の交換、下回りのブッシュ類やミッションの交換など幅広い用途に使用しています。観光バスの整備が多いので、リフトアップが不要ですぐ作業に入れるので助かっています」(崎山サービス部長)と、作業の時間短縮にも貢献しているとの事でした。

こだわりのアイデアが活かされた独自の集中給油システム

沖縄日野自動車(株)独自の設備としてももう一つ特徴的なのが、床上アーチ式の集中給油システムです。多くの工場がリール類を天井から吊るすレイアウトとなっていますが、同社はストール横に架台を組み上げ、そこに各リール類を吊り下げる床上アーチ式を採用しています。「リール類に不具合が起きた場合、天井近くに設置されていると、あまりにも高さがあるので修理が大変ですが、低い位置にあれば自分達でも点検・修理ができます」(崎山サービス部長)と、そのメンテナンス性の良さは、コストのかからない工場づくりのコンセプトにマッチしていると言えるでしょう。

また同社は、他メーカーの入庫が多い事からも、故障診断などの勉強会を定期的開催。メカニックの技術力向上に向けた取り組みを強化しています。

最新の設備を備え、技術力にもより一層磨きがかかる沖縄日野自動車(株)。トータルサービスを安心して任せられる信頼の拠点として、お客様の支持を今後ますます集めていくに違いありません。



海外で見た架台を参考に、改良を加え製作した床上アーチ式の集中給油システム。フロアーの左右でメカニックが作業できるよう3ヶ所に設置



県内初設置となる「2分割フロアリフト」。車両を乗入れるだけで即整備が可能で、特にバスの整備に重宝している

株式会社 ホンダカーズ群馬 前橋箱田店

群馬県前橋市箱田町14-1
Tel 027-289-8806

いま注目!
のショッパ訪問

今回訪問したのは、ホンダカーズ群馬12番目の拠点として3月にオープンした前橋箱田店。県内ホンダディーラー初となるホンダソルテック製大型ソーラーパネルを設置した環境配慮の「エコロジー拠点」です。現在、10名(店長、事務2名、営業4名、サービス3名)のスタッフで運営されています。同店はJR新前橋駅近くに関越自動車道の前橋インターと高崎インターの間に位置し、周辺は道路や店舗開発が盛んに行われています。オープン時の保有母体は約330件でしたが、約6ヶ月後の9月初旬には620件と、大幅な増加。勢いのある注目の新店舗です。



店 長
高野 照政 様



工場長
関口 由孝 様



最新設備と好アクセスを活かし、地域ナンバーワンを目指すエコロジー拠点

■メンテナンスパックで、お客様とより密接な関係を構築

車販に注力していく事はもちろんですが、高品質なアフターサービスができるかどうかもお客様からの評価の重要な要素です。前橋箱田店の現状の入庫台数は月間約200~300台で、車検は月平均20台。具体的な入庫促進策の一つとして、車検の場合、新車購入時にメンテナンスパックを推進しています。全社的には新車購入ユーザーの約80%がメンテナンスパックを契約しており、法人対象では、全国ホンダディーラーの中で第2位の契約率を誇っています。前橋箱田店ではメンテナンスパックの契約を通じて、お会いする頻度を高める中で、お客様と濃密な関係を維持し、クルマの事を安心して任せられる信頼できるパートナーとなる事を究極の目的としているとの事でした。



正確な光度を捉える「画像処理方式ヘッドライトテスター」は整備の効率化に貢献



リモコン1つで車検のできるラインマスターは今後の活躍が期待できる

■最新機器の導入で、ムダを省き、ES向上を実現

「よりメンテナンスパックの支持を高めていくためにも、効率化に寄与する最新の整備機器を導入した」と語る関口工場長に、導入した機器の使い勝手について伺いました。「ラインマスター」については、「これまで検査員室に移動してから検査票に結果を書き込んでいましたが、自動印字・プリントアウトが可能になった事により、手書きのわずらわしさがなくなり、効率化につながったと言えるでしょう」(関口工場長)。また、静音タイプの「ハイブリッドテスター」はすぐ近くに住宅やマンションがある以上、「騒音」については最大の配慮が必要であり、当然の選択だったとの事です。「画像処理方式ヘッドライトテスター」は、「とにかく使いやすく、配光パターンなどの表示も速い。以前のライトテスターならアコードやフィットの測定時には焦点が表示しにくく、光がチラついて調整に苦労しましたが、画像処理方式はクリアに映し出されます。今後増えてくるLEDのヘッドランプにもスムーズに対応できるであろうと期待

しています」と、関口工場長。進化する車両に対応した最新のテスターで正確な測定を行う事は、お客様の安全なカーライフをサポートするために、不可欠と言えるでしょう。リフト機器については、「マルチリフト」は

新車点検や簡易点検、オイル交換作業など、クイックな作業に使用。「緊急作業や簡単な点検作業に使いやすいので、いつでも整備できる状態にしたいから」という関口工場長のお考えもあって、「マルチリフト」はいつでも使用できるようフリーな状態を心がけているとの事でした。その他の作業は法定点検を含め「アルネオリフト」を使用し、導入したリフトを効率的に使い分けられています。

下部洗浄装置を含めた節水タイプの門型洗車機「カービスEXeco」を設置した理由を高野店長に訊ねました。点検や車検入庫のたびにメカニックが車両をリフトアップして下回りを洗浄している時間はロスであり、関口工場長も「門型洗車機を導入する前は、洗浄時に車両



「カービスEXeco」は下部洗浄装置と連動させる事でより有効に作用

■緑ある地で、地域への貢献と満足のいくサービスの提供を目指す

実はホンダカーズ群馬の前身は現在のJR新前橋駅近くで、1950年に始めた自転車販売店であり、前橋箱田店はいわば発祥の地。そして新拠点意願の地でもあったそうです。「来年3月までには指定を取得できると予想しています」と、力強く語る高野店長。思い入れのある緑の地で、新たなスタートを切った前橋箱田店。地域の基盤づくりに注力していく同社の、今後のさらなる発展に大いに期待がかかります。